

『集中ケア』研修会実施報告

日時 : 令和2年2月3日 9:00~12:00
対象者 : 卒後5年以上
参加者数 : 対象者37名 一般参加者3名
テーマ : 集中ケア
目的 : 患者の生体反応の理解を深め看護ケアに活かすことができる

<講師の紹介>

集中ケア認定看護師 主任
2009年大和高田市立病院入職後
2016年集中ケア認定看護師資格を取得
現在は2A病棟で活躍されています



<内容>



講義では呼吸器症状の増悪が患者の急変のサインとなり、観察を強化することで患者の異常を早期に発見することができることを学びました。また呼吸や循環について観察したことがどのようなエビデンスで、状態の把握やアセスメントにつながるかを学ぶことが出来ました。機械から得られる数値だけではなく、患者の観察から得られる情報を根拠に、アセスメントを行いケアにつなげることの大切さや重要性を学べた講義でした。この学びを各部署で伝達され、看護の質の向上につながることを期待したいと思います。